

## 「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」の進捗状況（平成 27 年度末）について

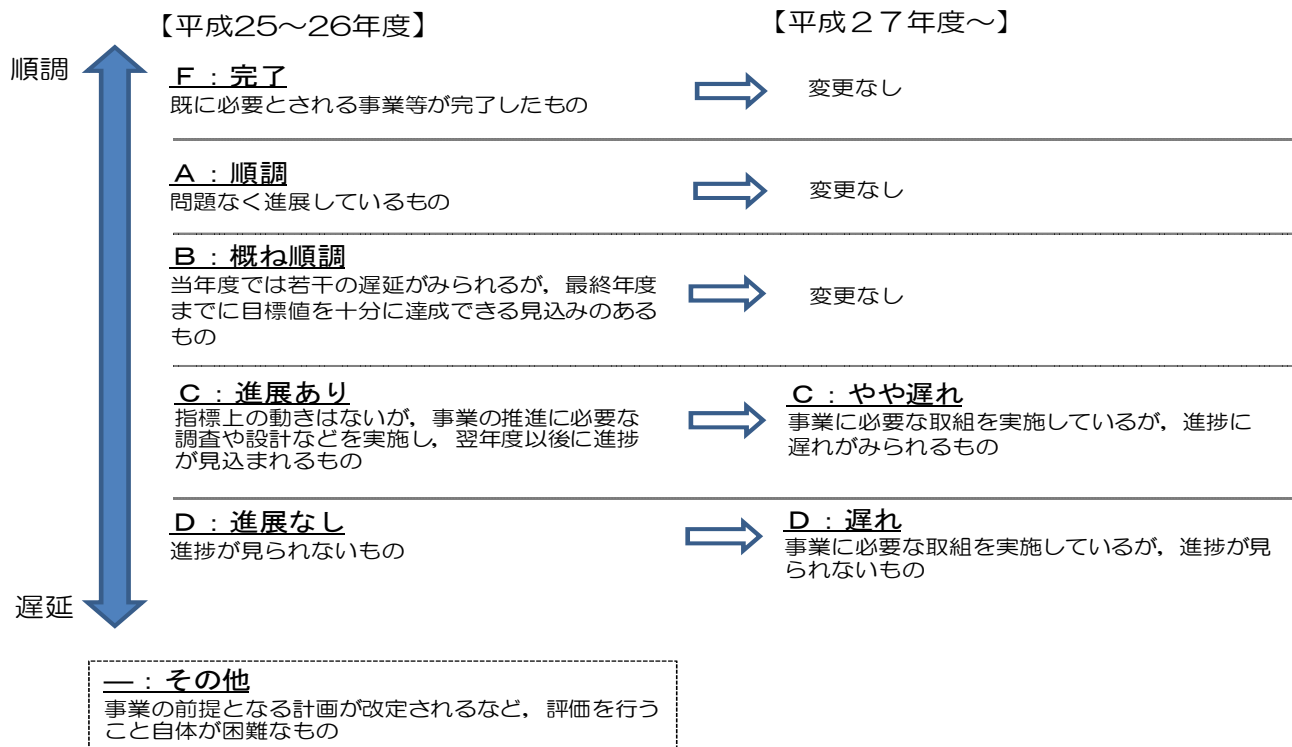
## 1 上下水道基本計画改定計画の進行管理について

- 改定計画においては、その進行管理の手法を計画中に明示していませんが、計画の策定過程において、「進行管理に係る指標の充実」を掲げています。また、「より実効性を高める計画とするため」に、12の基本施策に加えて、28の基本事業にも指標を設定しています。
- 以上より、計画行政の適正な推進という観点から、各年度終了後に指標の進捗状況やその評価、今後の取組の方向性等について整理を行い、公表することとしています。

## 2 評価の手法について

- 年度ごとの評価については、指標の推移を軸に評価するものとしており、指標主管課による主観的評価を基本としていますが、局内での協議や上下水道事業懇話会での聴取などを経て、最終的な評価を確定する形を採ることにより、一定の客観性確保に努めていきます。
- 評価の基準については、これまでよりも進捗度をわかりやすく表現するため、以下のとおり評価基準を変更します。

## 改定計画の評価基準



### 3 平成27年度における改定計画の進捗状況及び評価について 別紙参照

#### (1) 基本施策について

12の基本施策については、それらの進捗を測るために、16の指標を設定しており、評価は以下のとおりです。

- ・「F：完了」：1指標（「合流式下水道緊急改善率」（基本施策2-2））
- ・「A：順調」：8指標
- ・「B：概ね順調」：3指標
- ・「C：やや遅れ」：1指標
- ・「D：遅れ」：3指標

⇒ 「有収率」（基本施策1-3①, 2-3①）については、漏水・浸入水対策に必要な取組を行っていますが、これらの取組で対応できない要因により、実績値の上昇に結びついていないと考えられることから、新たな取組内容を検討し、効果的な取組となるように努めていきます。また、「基幹施設建築物の耐震化着手率」（基本施策3-2）については、下水道事業において、施設の再構築と併せた耐震化が必要となったことから、今後は、再構築に係る基本計画を策定し、そのスケジュールに基づき耐震化事業を進めていきます。

#### (2) 基本事業について

基本施策の下の28の基本事業には、33の指標を設定しており、評価は以下のとおりです。

- ・「F：完了」：4指標（監視魚自動監視装置導入箇所数（基本事業1-2-（1））  
（合流式下水道に係る「貯留施設設置数」（基本事業2-1-（3））  
（水道施設における危機管理設備整備件数（基本事業3-2-（2））  
（「会計基準見直しへの対応」（基本施策6-2(1)））
- ・「A：順調」：19指標（計画の柱1・3・4・6を中心）
- ・「B：概ね順調」：6指標
- ・「C：やや遅れ」：3指標
- ・「D：遅れ」：1指標

⇒ 「上下水道施設の耐震化工事取組件数」（基本事業3-2-(1)）については、基本施策と同様に、下水道事業において、施設の再構築と併せた耐震化が必要となったことから、今後は、再構築に係る基本計画を策定し、そのスケジュールに基づき耐震化事業を進めていきます。

#### (3) 総括

以上の基本施策、基本事業の指標値の推移から、いずれの指標についても、引き続きほぼ4分の3において「A：順調」または「B：概ね順調」という評価となったことから、計画全般としての進捗状況は概ね順調と判断しました。なお、国庫補助金の交付額の減に伴い、進捗に遅れが生じている事業については、今後も国・県等と協議や調整を行い、財源確保に努めていきます。

今後は、計画最終年次である平成29年度までの目標達成に向けて、更なる事業の推進に努めます。